

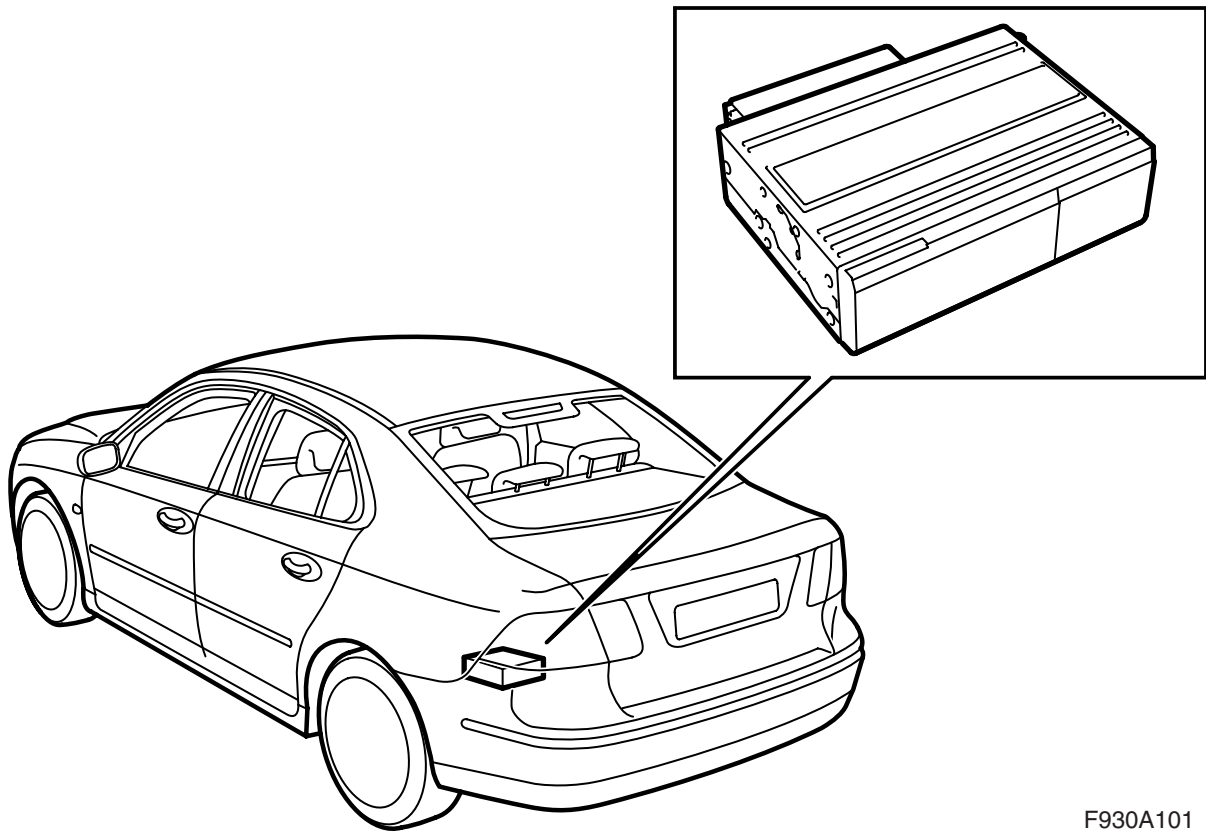


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

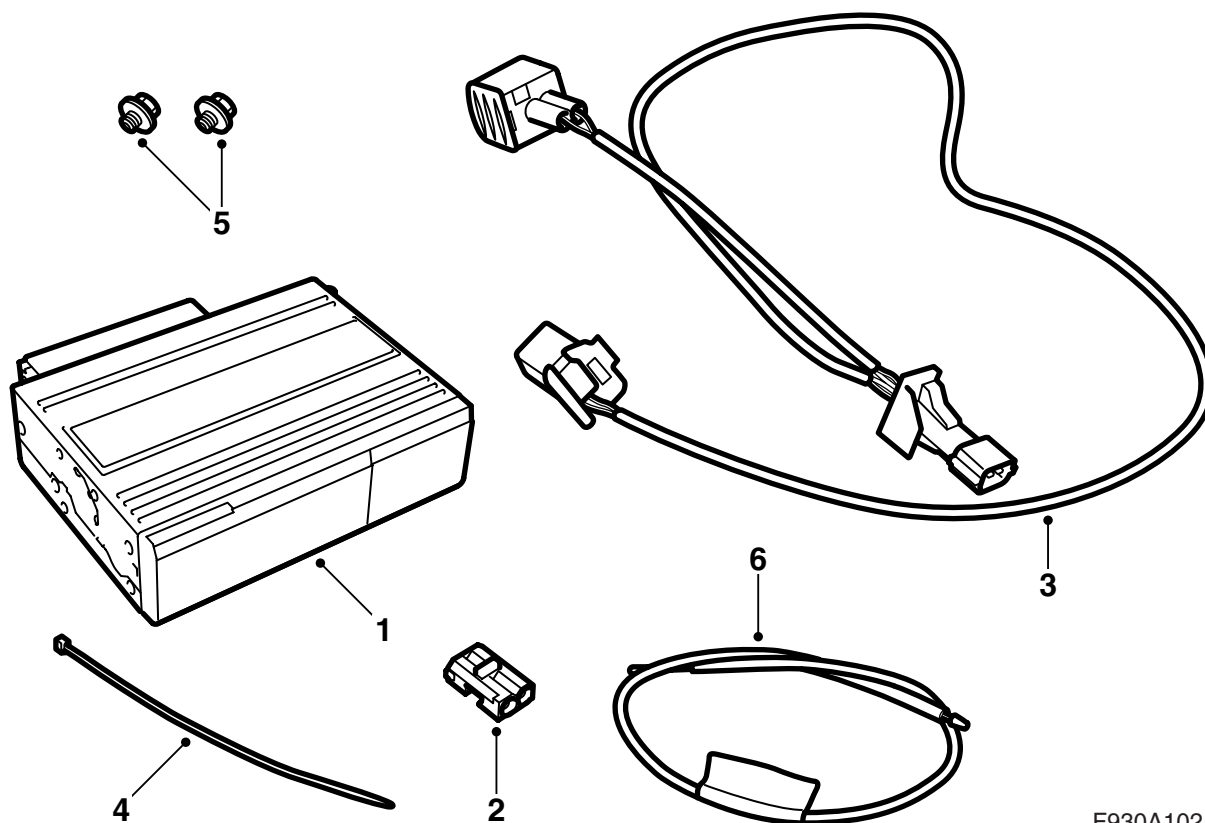
Saab 9-3 M03-

CD チェンジャー、トランクルーム

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 787 147	9:36-23	Nov 02	12 788 445	



F930A101



F930A102

- 1 CD チェンジャー
- 2 光ケーブルコネクタ (2 ピン)
- 3 ワイヤハーネス
- 4 ケーブルタイ
- 5 ネジ (x2)
- 6 光ファイバーケーブル (トランクルーム内のブラケットに他の装置がある場合にのみ使用)

その他に以下の部品が必要である (別注)

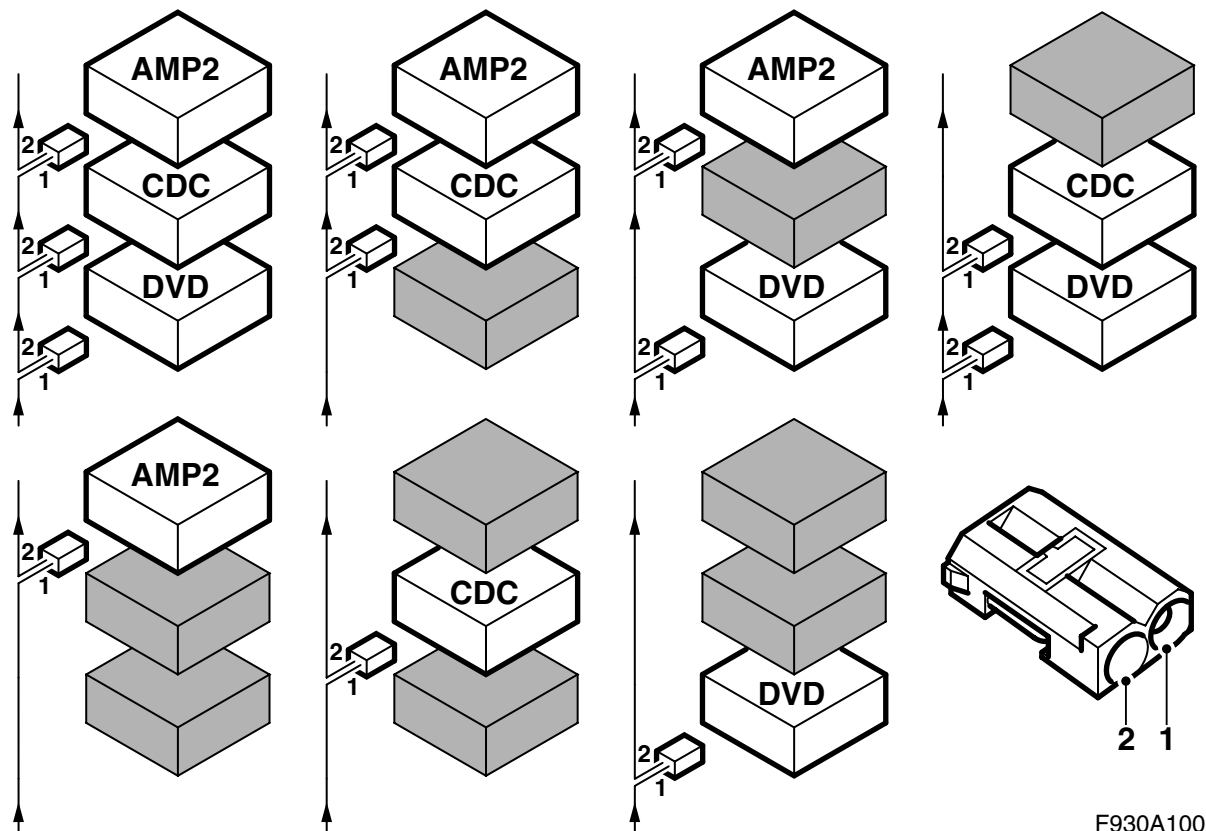
トランクルームの装置用ブラケット (車種による) の構成部品:

- ブラケット
- ネジ (x3)
- ナット
- クリップナット
- サイドトリム

取り付け

リアのヒューズボックス付近にブラケットがない車両の場合は、4 ページを参照。

リアのヒューズボックス付近にブラケットを含むアンプ、および / あるいは DVD プレーヤーがある車両の場合は、14 ページを参照。



F930A100

バス通信

車両の電子システムの多くの部品がバスを使って通信する。バス通信には3種類ある：P-バス (Powertrain Bus、駆動系バス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、およびO-バス (Optic bus、光学バス) である。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムと電話システムと一緒に、O-バスで通信する。

O-バスは、光学式でリングバスである。2本の光ファイバーケーブルが、バス上の各制御モジュールに接続されている。1本は受信用、もう1本は送信用である。受信されたメッセージは、各制御モジュールによって、光信号から電子信号に変換され、その後送信時に光信号に再び変換される。O-バスのデータ伝送スピードは毎秒 25 Mbit である。

重要事項

O-バスの接続部品は全て、必ず正しい順序 (図を参照) で接続されていること。また、リングは必ず、常に閉じた状態であること。

この取り付け説明書に記されている以外の方法で接続すると、車両のシステムが幾つか機能しないことがある。

AMP1 は、左側フロントシート下のアンプである。

AMP2 は、リアのヒューズボックス付近のアンプである。CDC は、リアのヒューズボックス付近の CD チェンジャーである。

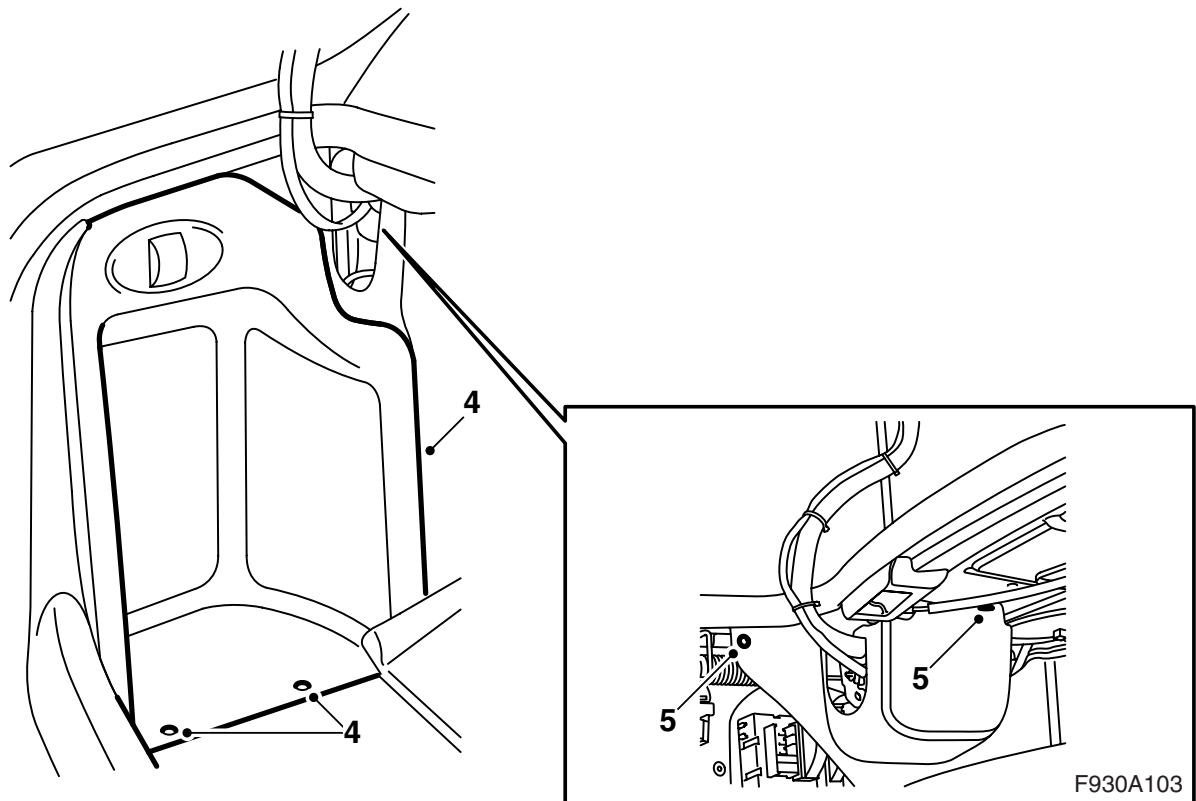
DVD は、リアのヒューズボックス付近の DVD プレーヤーである。

O-バスに接続するべき新しい機器を取り付ける場合、既存の機器に対して正しい側に接続することが重要である。

重要事項

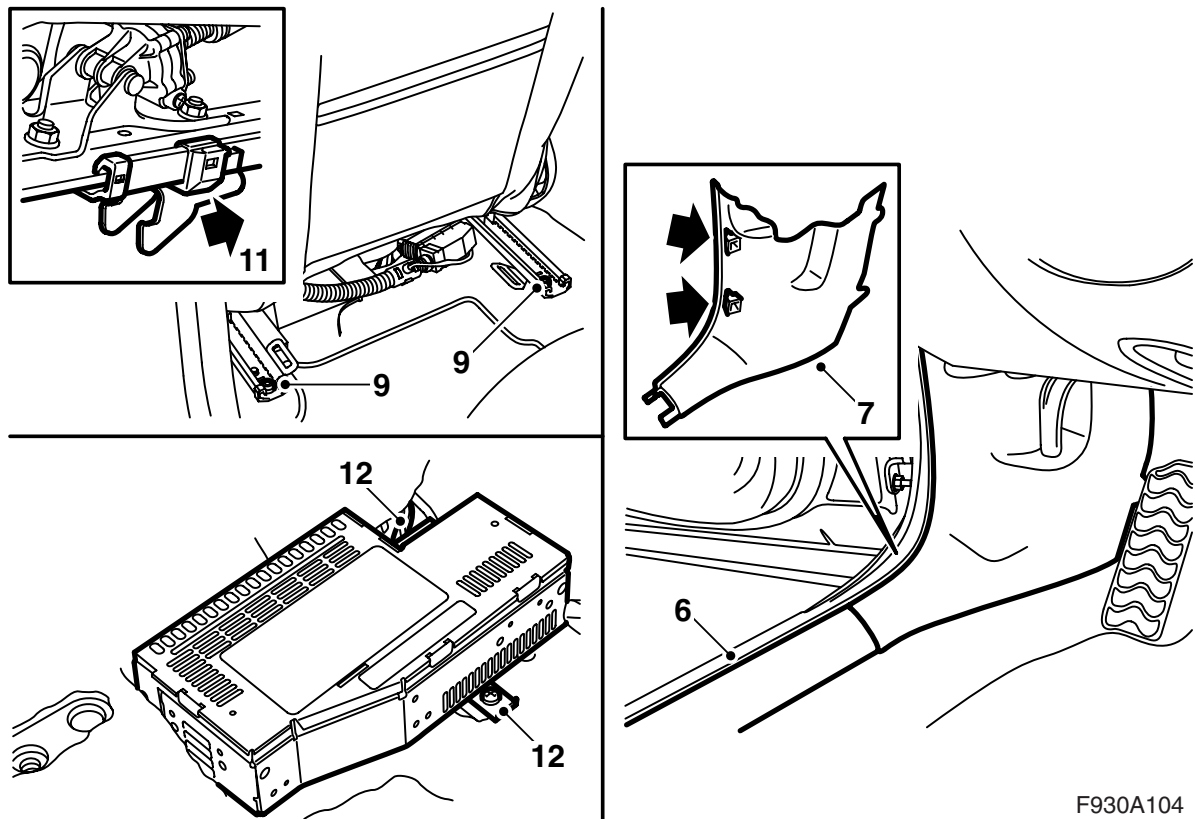
光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り間違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- 光ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルを 85 °C 以上の高温にさらしてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



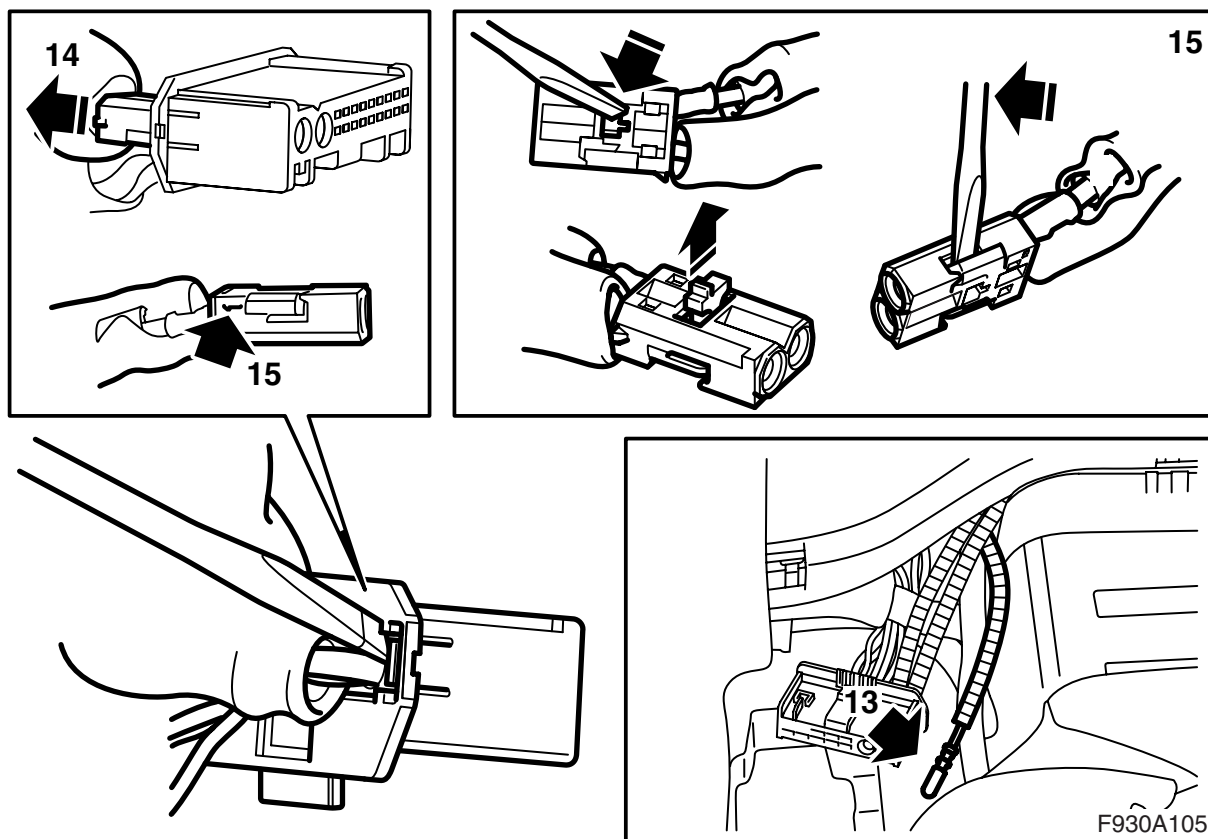
リアのヒューズボックス付近にブラケットがない車両の場合

- 1 トランクリッドを開く。
- 2 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを引き抜く。
- 3 トランクルームのフロアを前方にたたむ。
- 4 トランクルームの左サイドトリムのハッチを取り外し、右側のハッチを下に倒す。
- 5 左側サイドトリム用クリップを取り外し、トリムを作業の妨げにならないように折る。



F930A104

- 6 車両の左側のフロントスカッフプレートを取り外す。
- 7 左側のAピラートリムの下部を取り外す。
- 8 左側フロントシートを最前位置まで移動し、バックレストを前に倒す。
- 9 2本のリア固定ネジをシートから取り外す。
- 10 シートを前に傾ける。
- 11 シートを後方に引き、固定フックが専用の位置から外れるようにする。シート全体を後ろに倒す。
- 12 アンプを取り外す。



- 13 アンプ付近でグレーのマークのついた光ファイバーケーブルを探す。

カラーマークがない場合：本取り付け説明書の手順 35 と 36 の記述に従う。アンプ付近の光ファイバーケーブル上をライトで照らし、トランクルーム内の光ファイバーケーブルを見て、該当する光ファイバーケーブルを探す。テープ片でマークする。

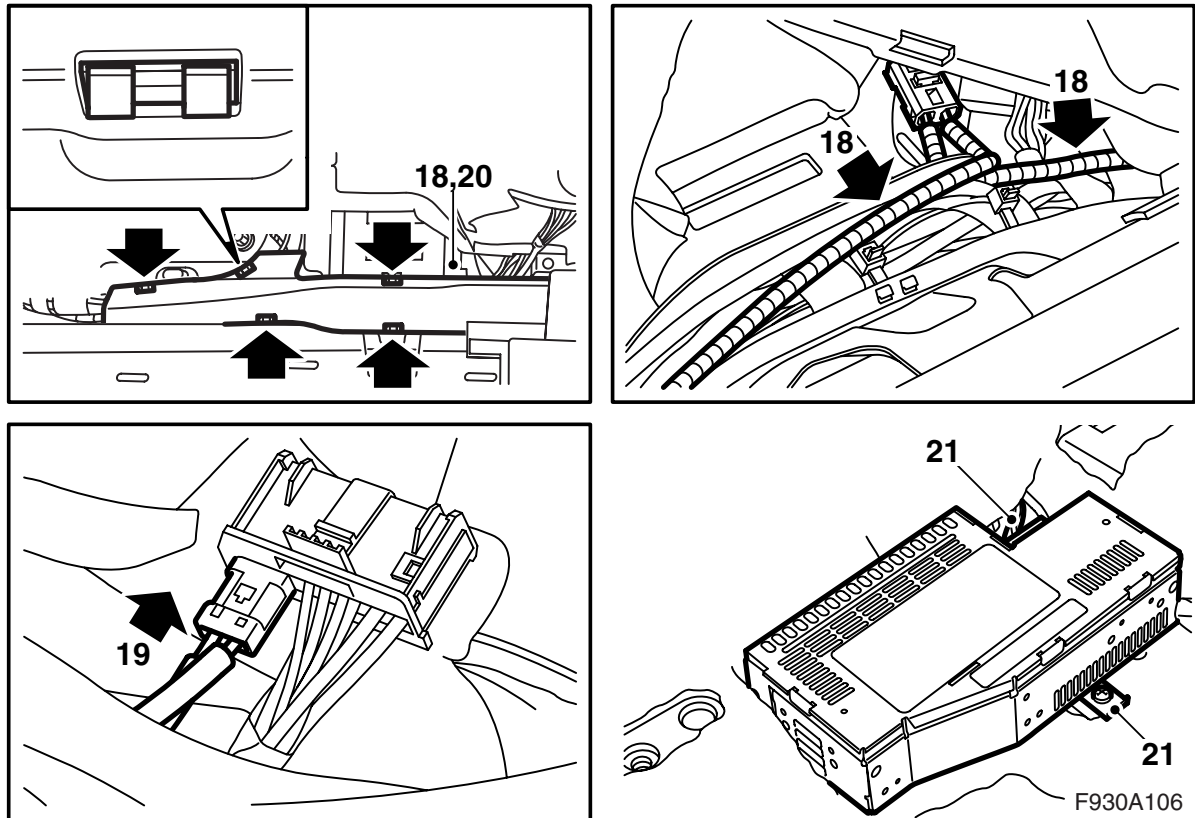
重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 14 光ファイバーケーブルのコネクター（小さいコネクター）をアンプのコネクターから外す。

- 15 1 の位置に接続されている光ファイバーケーブルを、コネクターのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。
- 16 アクセサリーキットの光ファイバーケーブルの接続部分から、保護カバーを取り外す。
- 17 取り外した光ファイバーケーブルの接続部分に保護カバーを取り付け、光ファイバーケーブルを（損傷しないように）注意深くどける。



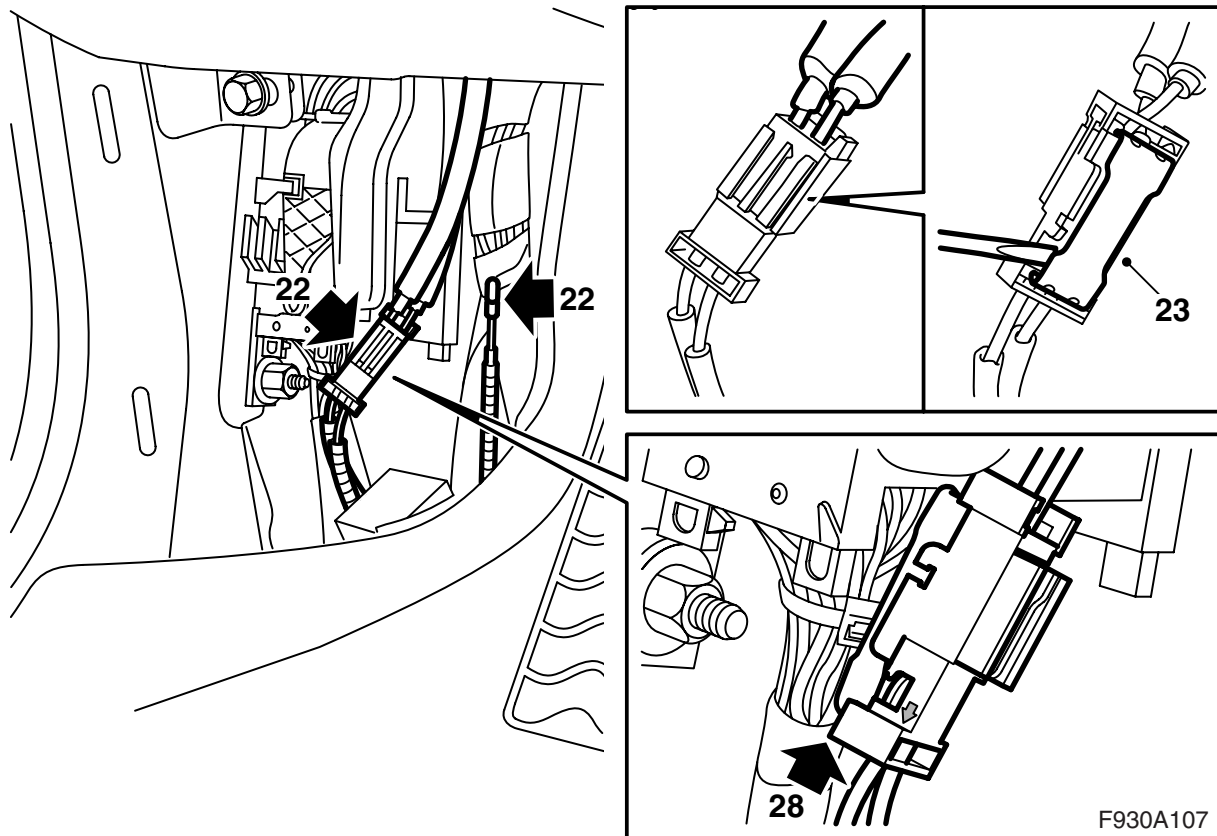
- 18 ケーブルダクトのふたを取り外し、光ファイバーケーブルが曲がらないか確認する。コントロールユニットへの小さいコネクタ内の位置1にある光ファイバーケーブル上に接続を取り付ける。ロックを取り付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 19 小さいコネクタを大きいコネクタに取り付ける。
- 20 ふたをケーブルダクトに取り付け、マットを元に戻し、マットの穴にコネクタとケーブルを通す。
- 21 アンプを接続し、取り付ける。



22 左側 A ピラーの下部付近で接続されていない光ファイバーケーブル、および接続されている光ファイバーケーブルの付いたコネクタを探す（ケーブルダクトにテープで留められている）。

⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

23 コネクタのストライカープレートを持ち上げる。
24 コネクタ内の矢印が光ファイバーケーブルに対して上向きになっている位置から光ファイバーケーブルを取り外す。

25 接続されていない光ファイバーケーブルから固定テープを取り外す。

26 アクセサリーキットの光ファイバーケーブルの接続部分から、保護カバーを取り外す。

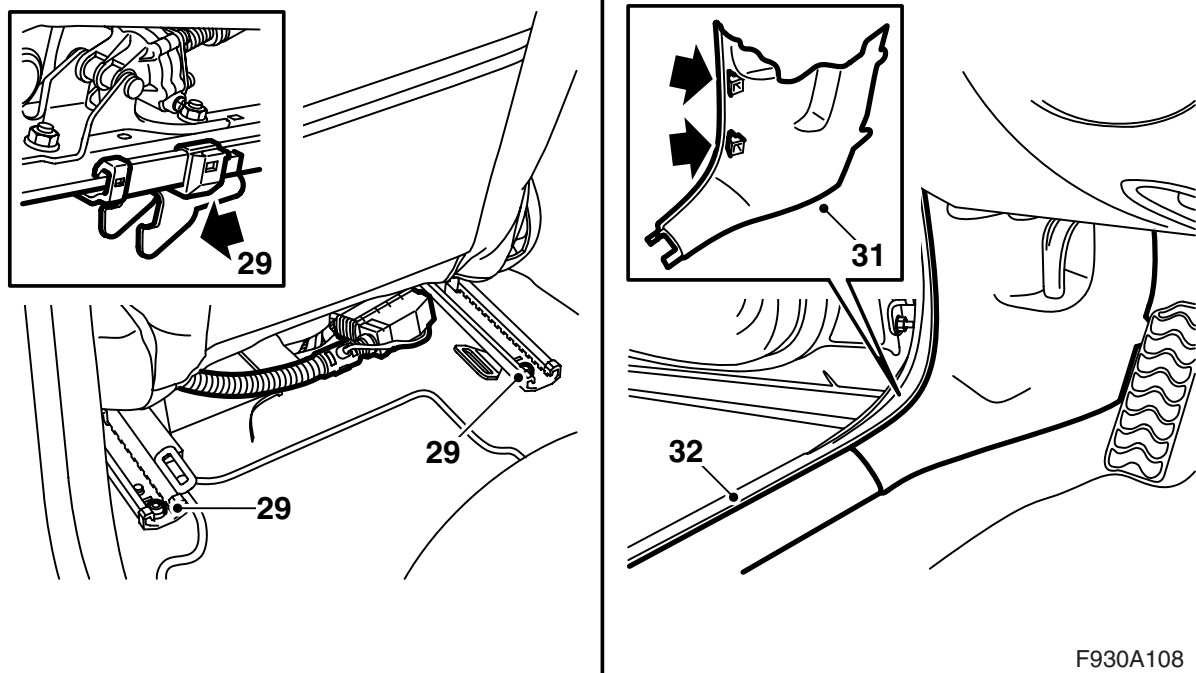
27 取り外した光ファイバーケーブルの接続部に保護を取り付ける。光ファイバーケーブルが傷つかないように注意深く引き入れ、ケーブルハーネスの後方に配置する。

28 コネクタ内の新しい光ファイバーケーブル上に接続を取り付け、ストライカープレートを取り付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本のケーブルを取り間違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

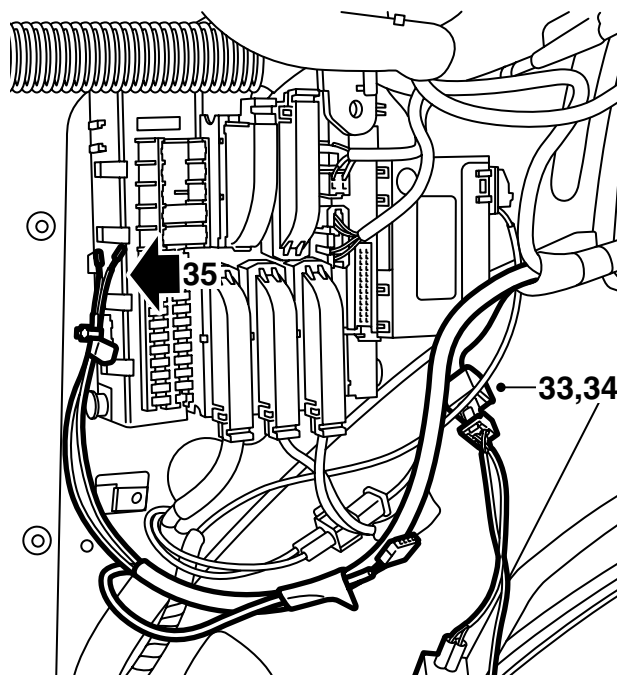
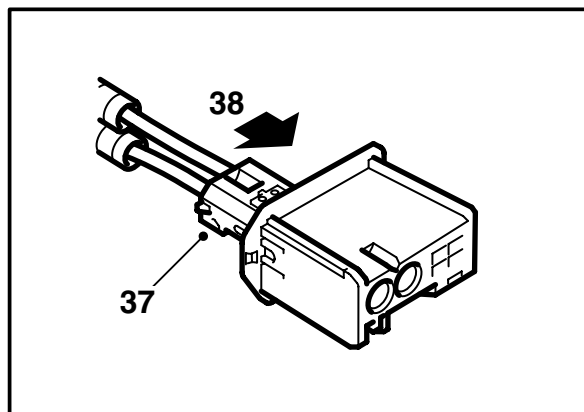


F930A108

- 29 シートを正しい位置に配置する。固定フックが専用のブラケットに正しく配置されるように注意し、リア固定ネジを取り付ける。

締め付けトルク： 30 Nm (22 lbf ft)

- 30 シートを後方に移動し、バックレストの位置を元に戻す。
- 31 Aピラーのトリムを取り付ける。
- 32 スカッフプレートを取り付ける。



F930A109

- 33 リアのヒューズボックス付近でCDチェンジャーのコンネクターを探す。
- 34 シートのワイヤーハーネスをコンネクターに接続する。
- 35 リアのヒューズボックス付近で光ファイバーケーブルを探す。
- 36 光ファイバーケーブルの接続から保護を取り外す。

警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコンネクターを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

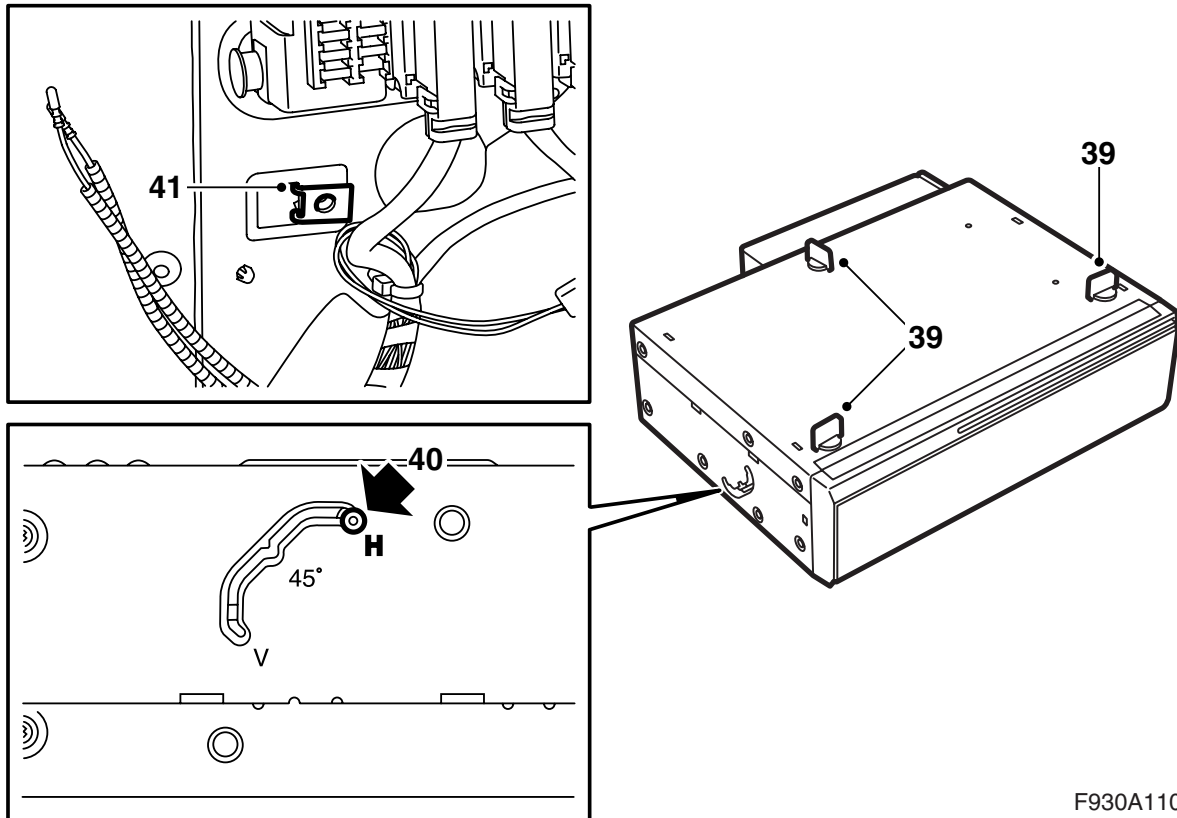
- 37 コントロールユニットへの小さいコンネクター内の位置1にある光ファイバーケーブル上に、グレーのマークがついた接続を取り付ける。また、小さいコンネクターの位置2にある光ファイバーケーブル上に、マークが付いていない接続を取り付ける。

重要事項

グレーのマークのついた光ファイバーケーブルがない車両は、すでにテープでマークされている光ファイバーケーブルを位置2に取り付け、マークのついていない接続は位置1に取り付ける。

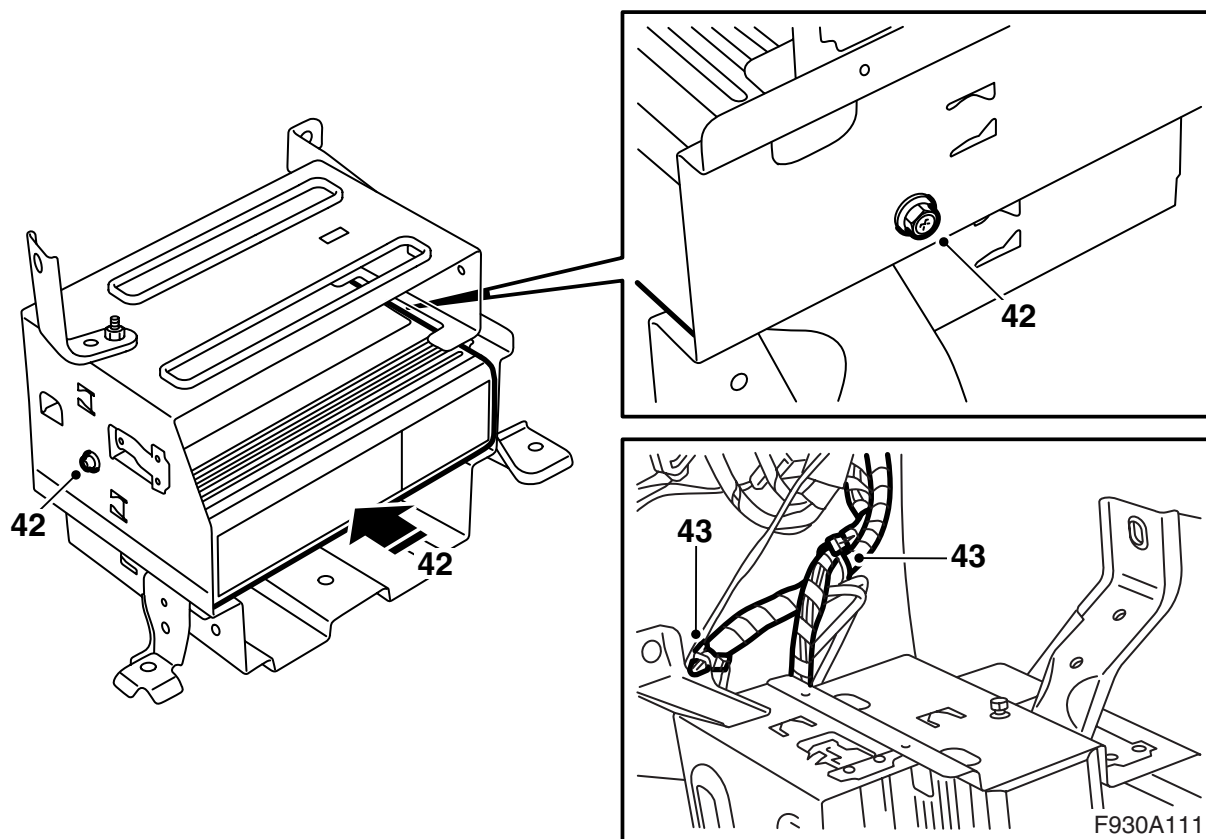
ロックを取り付ける。

- 38 小さいコンネクターを大きいコンネクターに取り付ける。



F930A110

- 39 CDチェンジャーから3個の赤い運搬用ロックを取り外す。
- 40 CDチェンジャー位置用のセッティングを確認する。CDチェンジャーの両側が位置Hになければいけない。
- 41 ブラケット用のクリップナットをリアのヒューズボックス付近の四角い穴に取り付け、ブラケットをトランクルームに配置する。

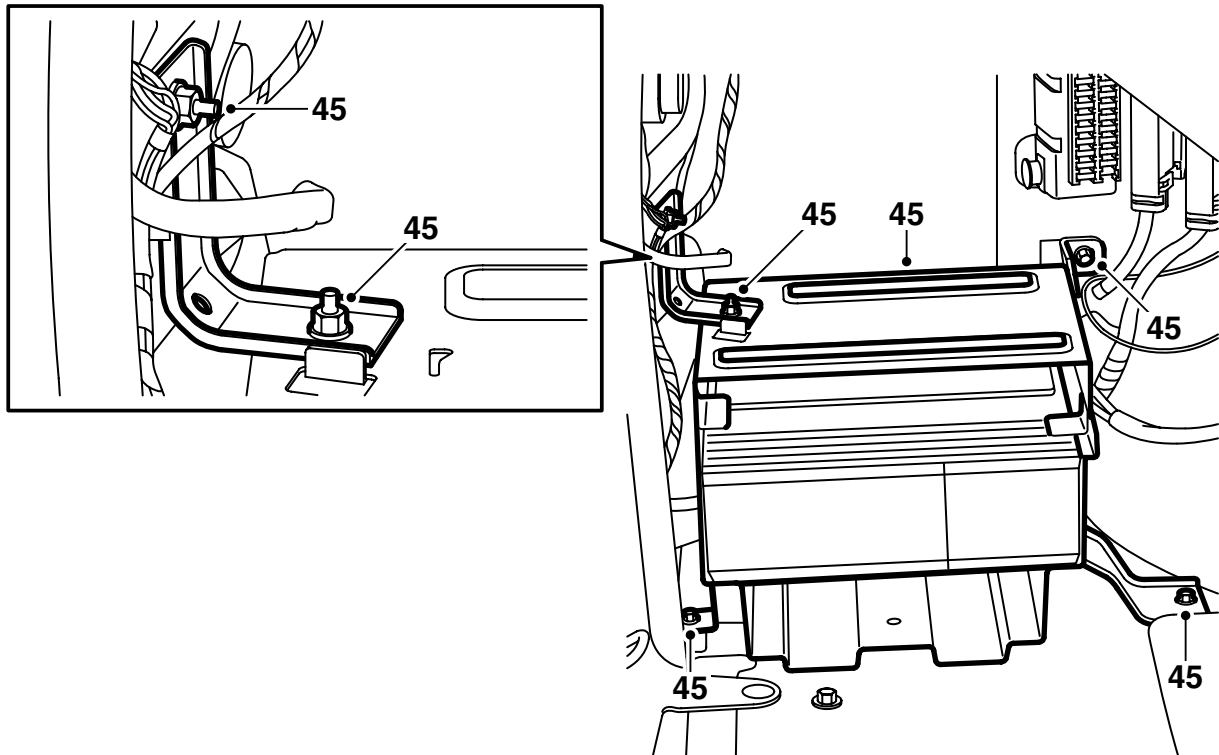


42 CD チェンジャーをブラケットに取り付ける。

締め付けトルク：2 Nm (1.5 lbf ft)

43 CD チェンジャーへのワイヤーハーネスを接続し、ブラケットの穴にケーブルタイのクリップを取り付ける。

44 CD チェンジャーのワイヤーハーネスを、使用していないコネクタ上の適切な場所にケーブルタイで固定する。



F930A112

- 45 ブラケットを取り付ける。ブラケットの上側のナットを締め付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 46 サイドトリムを取り付ける。
- 47 新しいハッチをトランクルームの左側のサイドトリムに取り付け、右側のハッチを折り上げる。
- 48 トランクルームのフロアを下に下ろす。
- 49 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
- 50 日付と時刻を調整する。
- 51 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

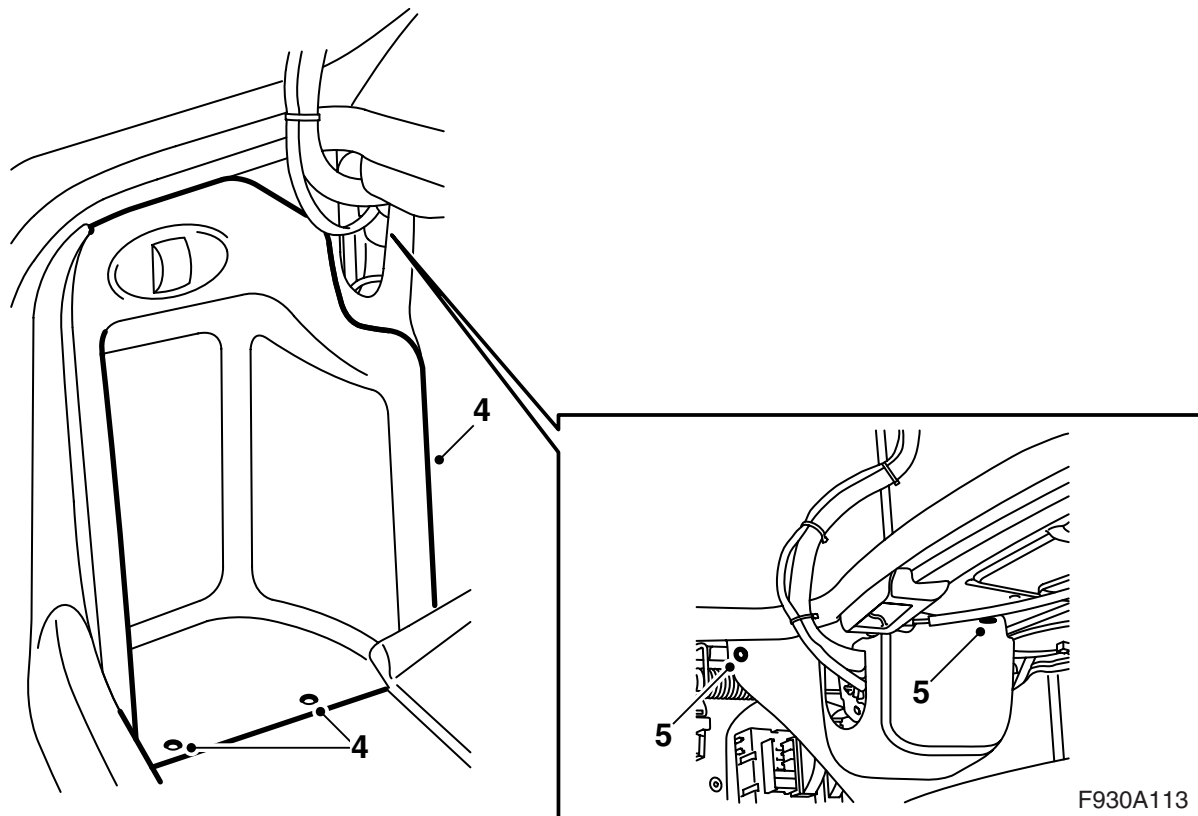
- 52 サイドウインドーを2回上下させることで、パワーウインドーのピンチガード（挟み込み防止機能）を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。

- 53 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

注記

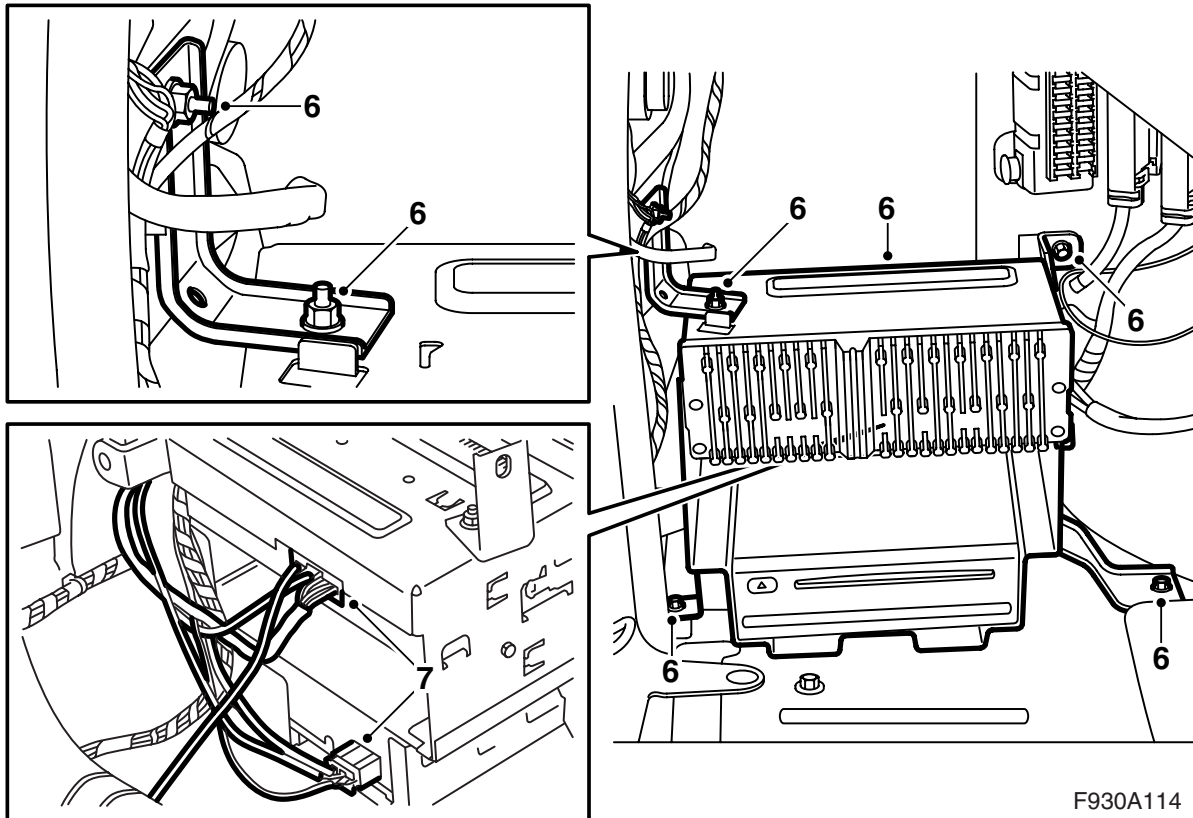
診断ツールは、場合によってはTISセーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 54 システムが機能することを確認する。



リアのヒューズボックス付近にブラケットを含むアンプ、および/あるいはDVDプレーヤーがある車両の場合

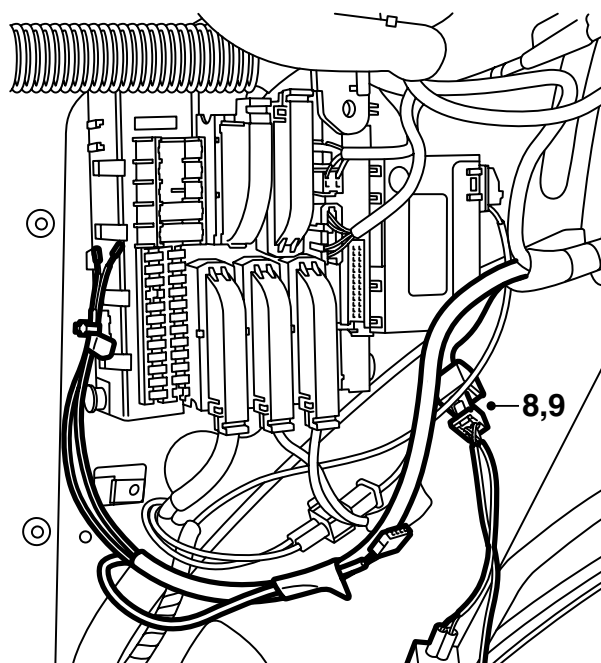
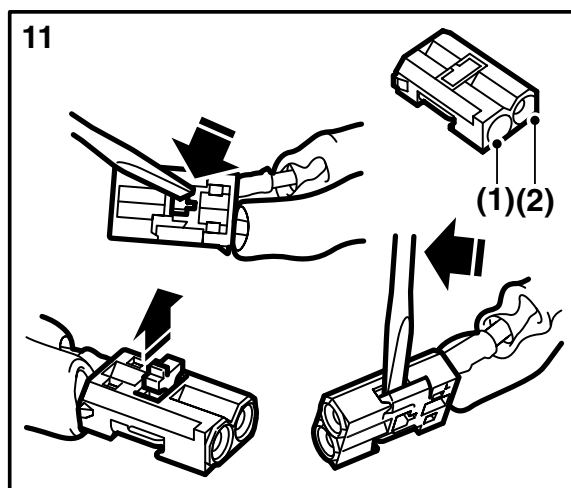
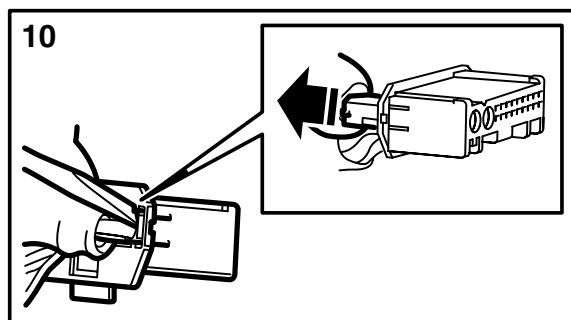
- 1 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを引き抜く。
- 2 トランクリッドを開く。
- 3 トランクルームのフロアを前方にたたむ。
- 4 トランクルームの左側サイドトリムのハッチを取り外す。
- 5 左側サイドトリム用クリップを取り外し、トリムを作業の邪魔にならないように折る。



F930A114

- 6 リアのヒューズボックス付近にあるブラケットを取り外し、手が届くようにブラケットを移動する。
- 7 リアのヒューズボックス付近にあるブラケットにアンプが取り付けられている：アンプのコンネクターを取り外す。

リアのヒューズボックス付近にあるブラケットにDVDプレーヤーのみが取り付けられている：DVDプレーヤーのコンネクターを取り外す。



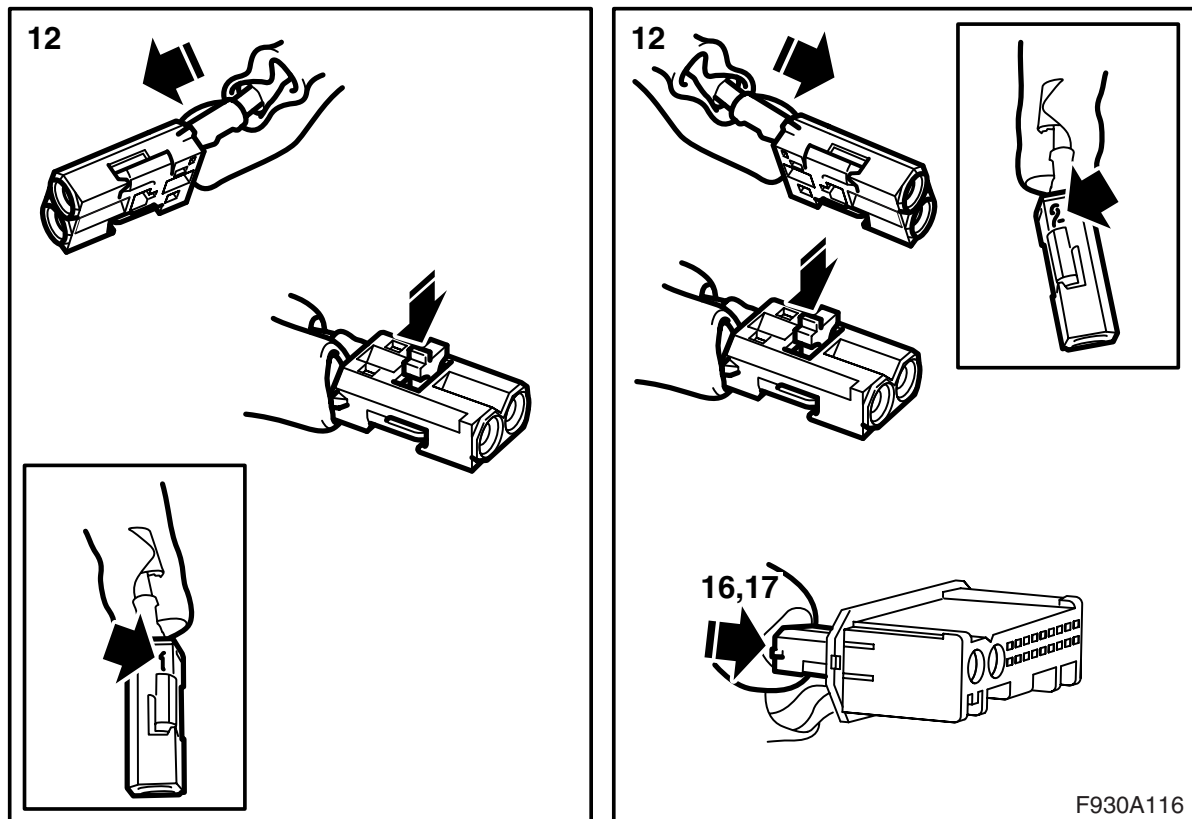
F930A115

- 8 リアのヒューズボックス付近でCDチェンジャーのコンネクターを探す。
- 9 シートのワイヤーハーネスをコンネクターに接続する。
- 10 光ファイバーケーブルのコンネクター（小さい方）を、それぞれアンプのコンネクターとDVDプレーヤーのコンネクターから取り外す。

⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコンネクターを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

- 11 **アンプのコンネクター：**コンネクターのロックを開け、フックを注意深く上げて、位置 1 に接続されている光ファイバーケーブルを取り外す。
DVD プレーヤーのコンネクター：コンネクターのロックを開け、フックを注意深く上げて、位置 2 に接続されている光ファイバーケーブルを取り外す。



12 **アンプのコネクター:** キットのコネクターの位置 1 にある光ファイバーケーブル上に接続を取り付ける。

DVD プレーヤーのコネクター: キットのコネクターの位置 2 にある光ファイバーケーブル上に接続を取り付ける。

13 アクセサリーキットの光ファイバーケーブル上の接続から保護パーツを取り外す。

14 **アンプのコネクター:** キットのコネクターの位置 2 にあるキットの光ファイバーケーブル上に、一方の接続を取り付ける。ロックを取り付ける。

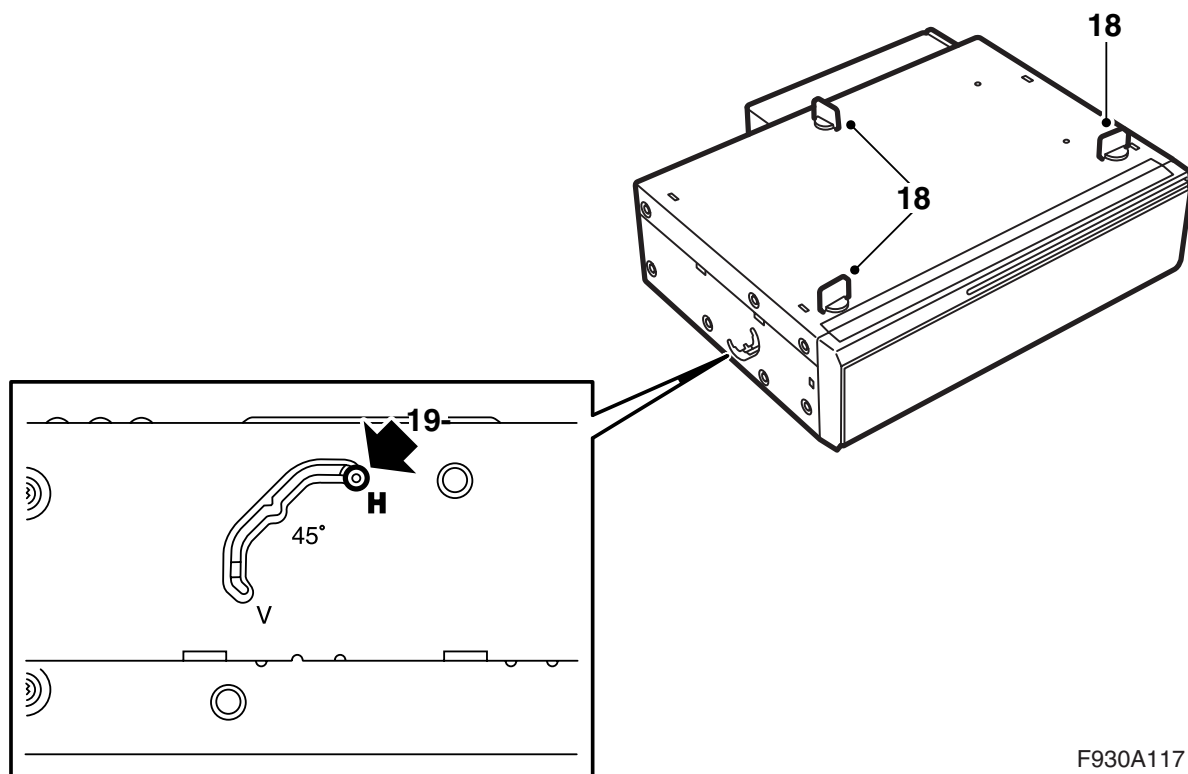
DVD プレーヤーのコネクター: キットのコネクターの位置 1 にあるキットの光ファイバーケーブル上に、一方の接続を取り付ける。ロックを取り付ける。

15 **アンプのコネクター:** アンプのコネクターの位置 1 にあるキットの光ファイバーケーブル上に、一方の接続を取り付ける。ロックを取り付ける。

DVD プレーヤーのコネクター: DVD プレーヤーのコネクターの位置 2 にあるキットの光ファイバーケーブル上に、もう一方の接続を取り付ける。ロックを取り付ける。

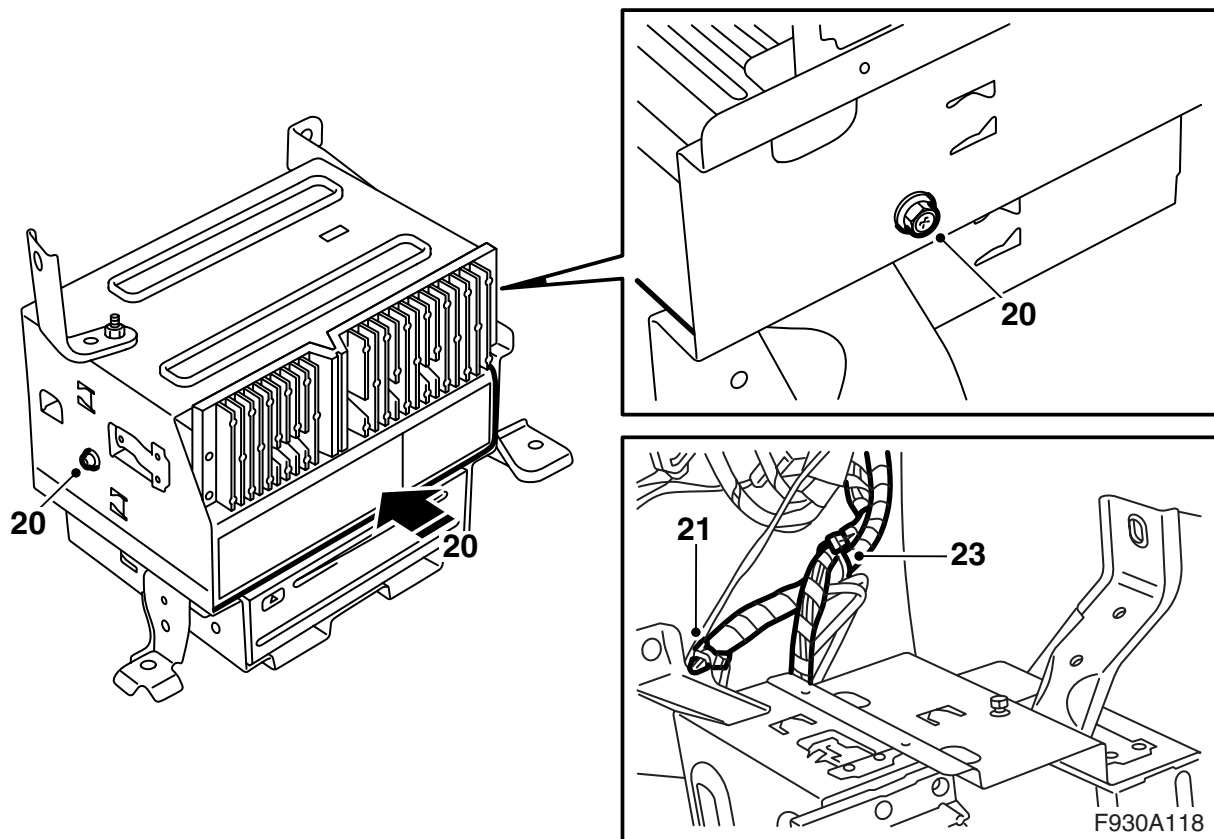
16 アンプ/DVDプレーヤー用の大きいコネクター内に小さいコネクターを取り付ける。

17 CDチェンジャー用の大きいコネクター内に小さいコネクターを取り付ける。



F930A117

- 18 CD チェンジャーから 3 個の赤い運搬用ロックを取り外す。
- 19 CD チェンジャー位置用のセッティングを確認する。CD チェンジャーの両側が位置 H になければいけない。



20 CD チェンジャーをブラケットに取り付ける。

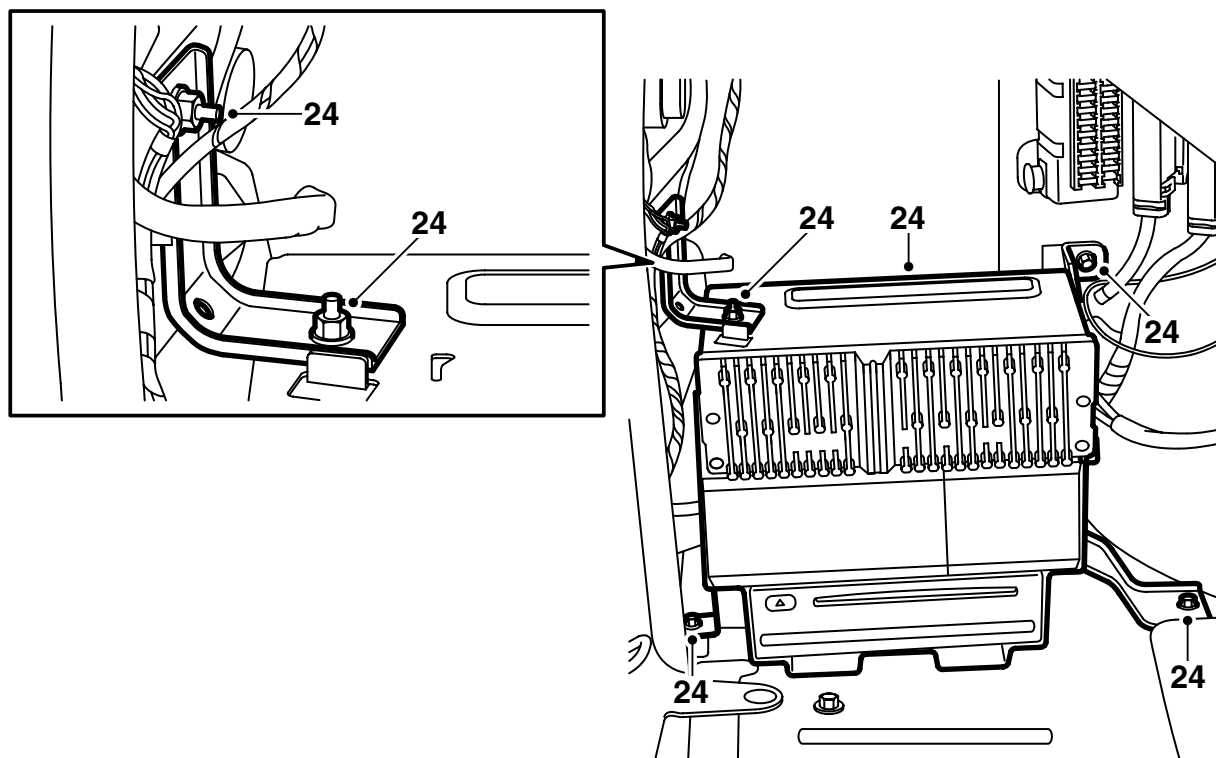
締め付けトルク：2 Nm (1.5 lbf ft)

21 CD チェンジャーへのワイヤーハーネスを接続し、ブラケットの穴にケーブルタイのクリップを取り付ける。

22 **リアのヒューズボックス付近にあるブラケットにアンプが取り付けられている：** アンプのコンネクターを取り付ける。

リアのヒューズボックス付近にあるブラケットに DVD プレーヤーのみが取り付けられている： DVD プレーヤーのコンネクターを接続する。

23 CD チェンジャーのワイヤーハーネスを、使用していないコンネクター上の適切な場所にケーブルタイで固定する。



F930A119

- 24 ブラケットを取り付ける。ブラケットの上側のナットを締め付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害されないよう注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り間違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 25 サイドトリムを取り付ける。
 26 トランクルームのフロアを下に下ろす。
 27 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
 28 日付と時刻を調整する。
 29 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

- 30 サイドウィンドーを2回上下させることで、パワーウィンドーのピンチガード（挟み込み防止機能）を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。

- 31 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

注記

診断ツールは、場合によってはTIS セーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 32 システムが機能することを確認する。